

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

2020年5・6月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
代表理事 中村 信博

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23
075 (711) 2147

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第614号

三〇数年ぶりに、アルペール・カミュ『ペスト』を再読した。最初に読んだときも、登場人物一人ひとりの個性を繊細に描き出すカミュの文学的技巧と、それを支える思想的深さに圧倒された記憶があるが、アルジェリアのオランという都市がペスト拡大に伴って封鎖されたという物語そのものは、どこか遠い世界での出来事のように思えた。それゆえ、『ペスト』を、この世の不条理や、人の苦難や死の隠喩(メタファー)として読んでいた。

ところが、新型コロナウイルスの感染拡大によって刻々と変化する社会情勢を感じながら再読する中で、同じ小説がまったく違うリアリティをもって迫ってくることに驚きを禁じ得なかった。オランで起きていることが酷似しており、不条理のただ中に置かれたときの人間心理は、時代によって大きく変わるわけではないことをあらためて認識させられた。私にとってペストは隠喩ではなく現実のものとなった。

とはいえ、カミュは、ペストを人の外部から身体に侵入

してくる感染症として描いているだけでなく、それが隠喩として人間の精神や社会の中に巣くっている有り様をも語っている。登場人物の一人タルーにとって、ペストとは死刑宣告(制度)のことであり、人間に死をもたらすという点では、ペストも死刑宣告も何ら変わりがない。だから、タルーは死刑宣告や殺人(戦



パンデミック時代の信仰

財団評議員

小原 克博

争)を嫌悪し、その隠喩的な意味でペスト患者になることを拒もうとする。しかし同時に、この世界の誰もペストからは逃れられないという認識に至るのであった。

時代の不条理のただ中でありながら、人間がいかにそれに抵抗し、自由であり得るかをカミュは問うている。カミュと同時代に生き、同

中で、「われわれは——《たとえ神がいなくとも》——この世の中で生きなければならぬ。このことを認識することなしに誠実であることはできない。そして、まさにこのことを、我々は神の御前で認識する! 神ご自身が、われわれを強いて、この認識にいたらせたもう」と記した。

カミュとボンヘッファアのおそるべき近さをどのように受けとめたらよいのだろうか。『ペスト』の主人公とも言える無神論者の医師リ

ウーが、見解をまったく異にしながらも、ペスト最前線と共に戦う同労者のパヌルー神父(彼はペストを天罰として語った)の手をとり語りかけた、冗談めいた言葉が妙にこだまする。「神さまだつて今や私たちをひき離すことはできませんね」。医療と宗教という異なる領域のすれ違いと邂逅が、新たな神認識を強いている。

ポストコロナの時代を迎えたとしても、次のパンデミックが待ち構えている。グローバルな人口移動・人口集中・人口増加・自然破壊が続く限り、パンデミックが途絶えることはない。その意味で私たちはインター・パンデミック時代を生き続けなければならぬ。「中間の時間」をいかに生きるかは、キリスト神学、とりわけ終末論にとつて重要な問いであり続けてきた。『ペスト』を再読する中で、偶然にも、カミュとボンヘッファアの「中間」に立たされている自分自身を発見することになった。パンデミックが人間社会にもたらした、現実的かつ隠喩的な意味を問う作業を始めなければならない。

(同志社大学神学部教授)

関西セミナーハウス活動センター

●2019年度 修学院フォーラム「社会」第5回
「北東アジアの地政学的変動とキリスト教徒の責任」

作家・元外務省主任分析官 佐藤 優さん
2020年2月8日(土)



7回目になる佐藤氏の講演は、今回も興味深い内容に満ちていた。神学の「神義論」から始まった。神は義であつて、この世の中に起る悪には責任がない。ナチスドイツのホロコースト、日本の朝鮮、中国への侵略、広島・長崎への原爆などは、人間の罪のなせる業であり、神の業ではない。人間の側に責任がある。

2019年、日韓関係は急速に悪化した。この背景には地政学的要因がある。韓国は朝鮮戦争終結後、地政学的に海洋国家(海に囲まれて地続きの国を持たない)として発展してきた。ところが2018年のシンガポールでの米朝会談以後、北朝鮮との関係改善に伴い韓国が大陸国家化し、中国との交流が始まった。そのことよつて、これまでの日韓関係が根本的に変化したのだ。もし朝鮮半島で戦争が起きれば、北朝鮮だけではなく、韓国はもちろん日本も当事国として甚大な犠牲者を出すだろう。(数百万人)になるだろう。そのような中で、キリスト者はどう考えるべきか。

講演の後、フロアからも多くの質問に対し、キリスト者、非キリスト者を問わず、今置かれている責任は大きい、今置かれているところで誠実に生きることが基本的に重要であると諭された。最後に、今何を目指し、ど

こに向かつて進むべきかが語られ、次の点が挙げられた。まず、戦争は絶対ダメということ。そして緊張が深まる中で、焦らず冷静にキリスト者の役割を果たしたい。キリスト教徒も増やしたい。国家が対立していても民間レベルでの友好を大切にしたい。韓国語を学び、留学交流することも大きな力になる。

●2019年度 修学院フォーラム「福祉」第2回
「『福音家族』について」

カトリック上野教会・浅草教会主任司祭「福音家族」主宰 晴佐久 昌英さん
2020年2月22日(土)



およそ1年前、フォーラムへのお招きを神父に打診した際、すでにスケジュールがほぼ一杯だと言われてしまった。「さすが売れっ子神父、あちこち講演に飛び回っているのだらう」と思ったが、さ

らにあらう。教会でほとんど毎晩開かれている食事会に出ているのだという。神父によると、さまざまな痛みを抱えている多様な属性のグループがあり、その数およそ25にのぼるとのこと。そして各グループと月1回は「いっしょごはん」をするのだという。1ヶ月に25回以上の計算となる。神父はこれを「福音家族」と名づけ、大切にしてもらえるのだ。フォー



ラム当日も、福音家族のミーティングがあるということ。終了後すぐに関西セミナーハウスを後にされた。「食卓を共にすることで家族となる」。それが神父のモットーのようだ。教会は神の家族といわれる。血縁を超え、食卓を共にすることで生まれる新しい家族。神父は教会や救いについて、言葉だけで観念的に定義することには関心がない。食卓を共にすることで「家族」となっていくところ、そこに救いは実現し「教会」は真に立ち現れてくる。その意味において、「教会の外に救い無し」は真実なのである。(報告:徳田 信)



2019年度賛助会費・寄付金納入者ご芳名 2019年4月1日～2020年3月31日(順不同・敬称略)
ご支援に感謝申し上げます。

Table with 4 columns of names and organizations. Includes categories like 財団本部, 賛助会費, 寄付金, and 関西セミナーハウス活動. Names include 藤 知佳, 中井 博雅, 齊藤 洋子, etc.

プログラム案内

◆**関東活動センター**

COVID-19 の拡大により、関東活動センターの各講座やプログラムは、9 月開講を予定しています。

◇**9 月開講予定**

■**2020 年度 関東フォーラム宗教対話**

「教会と音楽 讃美歌を中心として」
講 師：小海 基さん (日本基督教団 荻窪教会牧師・元教団讃美歌委員)

「悪と苦難の問題を考える」

講 師：本多 峰子さん (二松学舎大学教授)

■**2020 年度聖書を読む講座**

「新しい聖書の学び マルコ福音書を読むⅢ」

講 師：山口 里子さん (日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

「上林順一郎牧師と一緒に聖書を読もう—この時代の中で、聖書からのメッセージを読み解く—」

講 師：上林 順一郎さん

■**2020 年度 研究会**

「さらに豊かな礼拝のために～ことばを届けるトレーニング」

講 師：友野 富美子さん (日本キリスト教団吉祥寺教会担任教師)

■**2020 年度関東フォーラム 宗教対話**

財団本部

<http://www.academy-nippon.com>

関東活動センター

<http://www.academy-tokyo.com>

関西セミナーハウス

<http://www.kansai-seminarhouse.com/>

関西セミナーハウス活動センター

<http://www.academy-kansai.org>

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー

代表理事 中村 信博

本部事務局

〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館 1F
TEL 03-3207-6198
E-mail: info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター
〒 606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115
E-mail: info@kansai-seminarhouse.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117
E-mail: office@academy-kansai.org

特別講義

「スペイン風邪(1918～20年)の時、キリスト教会はどうであったのか」
講 師：戒能 信生さん (日本基督教団千代田教会牧師)

◆**関西セミナーハウス**

■**月釜「清心会」**

5 月～7 月休会いたします。

◆**関西セミナーハウス活動センター**
新型コロナウイルス感染予防のため、5 月 6 月のプログラムは中止・延期しています。

■**2020 年度修学院フォーラム「いのち」**
第 1 回「すべての命を大切に～NPO 法人こうのとりゆりかご in 関西の理念と現状」

講 師：人見 滋樹さん (NPO 法人こうのとりゆりかご in 関西 理事長、京都大学名誉教授、日本胸部外科学会名誉会長)

5 月 16 日 (土) は延期。日程調整中。

■**2020 年度開発教育セミナー**

第 1 回「開発教育入門セミナー～SDGs (持続可能な開発目標) をじぶんごとに～」

6 月 21 日 (日) は中止します。

第 2 回「民主主義の危機を乗り越える～多数決で語られる「民意」と公正な社会～」

日 時：7 月 18 日 (土) 16:00～19 日 (日) 12:00

講 師：坂井 豊貴さん (慶應義塾大学経済学部教授)

会 場：関西セミナーハウス

参加費：10,500 円 (1 泊 2 食込) 京都市宿泊税 200 円別

■**2020 年度お茶のこころと宗教のこころ**

「D.ボンヘッファー (1906～1945) の遺稿『倫理』を新版で読む」

講 師：山崎 和明さん (四国学院大学名誉教授)

日 時：8 月ないし 9 月まで休止、「後期」開講調整中

会 場：関西セミナーハウス

参加費：1,500 円 (抹茶と和菓子付)

◎7 月以降のプログラムについても、第 2 波の状況により、予定変更の可能性があります。その場合は、左記の各センターウェブサイトなどでお知らせいたします。

関西セミナーハウス <修学院きらら山荘>

研修パック "脱!! 3密プラン" 実施中

【期間限定】(～8 月 3 日)

・1 日 1 団体限定。・宿泊室、1 名 1 室利用 (追加料金なし)
詳しくは、ウェブサイト、または下記まで。

デユース★テレワーク応援プランも継続中。

お問合せ：TEL 075-711-2115 (代)

賛助会費・寄付金報告

2020 年 4 月 1 日～4 月 30 日

(順不同・敬称略)

◆**関東活動センター**

賛助会費

中村 信博 10,000

寄付金

中村 信博 50,000

◆**関西セミナーハウス**

寄付金

武藤 高司 30,000

◆**関西セミナーハウス活動センター**

賛助会費

小山 稔 3,000

立石 昭三 5,000

福留 順子 5,000

徳丸 延子 10,000

シュベネマン クラウス 10,000

林 律 10,000

中山 晴美 5,000

浦 晴子 5,000

宇野 稔 5,000

柳井 繁彌 5,000

上條 美代子 5,000

多木 秀雄 5,000

医療法人わたなベクリニック 10,000

川北 かおり 10,000

中村 信博 10,000

斉藤 洋子 5,000

藤倉 寿美子 3,000

松岡 蓉子 5,000

寄付金

伊藤 威知郎 1,000

川北 かおり 10,000

中村 信博 50,000

斉藤 洋子 1,000

以上感謝をもってご報告申し上げます。